

學 會 消 息

○経済学会第三回定例学術講演会

第一部の学生会員に対する第二回学術講演会を左記の通り開催した。

日 時 昭和二十九年九月二十一日(火)午後二時三十分より

会 場 経商学会講堂

講師と演題

我が国対外輸出の問題点

—ビルマ・タイの視察を中心として—

神戸大学教授 竹 中 龍 雄氏

○経済学会第四回定例学術講演会

前日に引き続き第三回(第一部)学術講演会を左記の通り開催した。

日 時 昭和二十九年九月二十二日(水)午後一時より

会 場 経商学会講堂

講師と演題

日本の経済自立ということ

京都大学教授
経済学博士 松 井 清氏

○経済学会例会

左記の通り研究発表が行われた。

日 時 昭和二十九年九月二十九日(水)午後一時三十分より

会 場 経商学会会議室

報告者と論題

1、恐慌理論の動向

専任講師(商学部) 柏 尾 昌 哉

2、封建社会の起源と本質

教授(短期大学部) 加藤 由次郎

○経済学会特別講演会

去る九月二十七日より十二日間に亘つて京都で開催された第十二回太平洋会議(太平洋問題調査会国際会議)に英国代表として出席されていたアレン教授を招聘したのを機に、同教授を煩わして特に学生会員のために左記の通り講演会を開催することが出来た。

日 時 昭和二十九年十月二十一日(木)午後一時三十分より

会 場 経商学会講堂

講師と演題

イギリスにおける産業国有化について

ロンドン大学教授 G・C・アレン氏

尚本講演は通訳なしに行われたが、講演に先立つてアレン教授と旧知の本学矢口教授の紹介並びに解説があつた。

○経済学会第五回定例学術講演会

第二部の学生会員に対する第二回講演会を左記の通り開催した。

日 時 昭和二十九年十月二十五日(月)午後六時十分

より

会場 天六学舎講堂

講師と演題

経営と労働

〔京都大学教授

田 杉

競氏

○経済学会例会及び座談会

左記の通り研究発表が行われた。

日 時 昭和二十九年十一月一日(月)午前十時三十分

より

会場 経商学舎会議室

報告者と論題

1、会計学上の基本仮定について

専任講師(商学部)

酒井文雄

2、経済景観の構造

教授(短期大学部)

宇田米夫

引続き理論経済学会全国大会に出席されていた一橋大学の山田雄三教授を招き、左記の通り座談会を開催した。

時間 午後二時三十分より

会場 大学院ホール

テーマ 理論経済学の新しいエボックについて

○経済学会例会

左記の通り研究発表が行われた。

日 時 昭和二十九年十一月二十七日(土)午後一時より

会場 経商学舎会議室

報告者と論題

1、十九世紀末におけるアメリカ農民層の分解

専任講師(経済学部)

東井正美

2、教育経済学の周辺

―私立の大学教育を焦点として―

教授(経済学部)

沢村栄治

○経済学会例会及び森川教授帰朝歓迎会

左記の通り研究発表が行われた。

日 時 昭和二十九年十二月二十日(月)午後二時より

会場 経商学舎会議室

報告者と論題

戦後のわが国における経営労資関係論の潮流

助手(商学部)

高堂俊彌

引続き本年四月より約半歳に亘り本学海外視察研究員として米英及び欧州大陸を歴訪し、多くの成果を携えて去る十一月二十六日無事帰朝された経済学部森川太郎教授の歓迎会を左記により開催した。

時間 午後三時三十分より

会場 経商学舎会議室

席上同教授より帰国の挨拶を兼ねて視察報告があり、終つて歓迎パーティを催した。